

おおたの未来づくり 単元計画書

池雪小

単元名	「伝えよう、地域のよさ 呑川プロジェクト」(第6学年)		
内 容	B ものづくり	総時間数	35
目 標	・呑川の方や聞く人や見る人の意識に立って企画し、制作するための内容的・方法的な知識及び技能を身に付ける。 ・ICT 技術などを用いて呑川の魅力をより効果的に伝えるために試行錯誤しながら動画などを作成する活動を通して、呑川が直面する問題や地域の人々の願いを解決する方法を考える。 ・呑川の会の人々に関わる経験を通して、呑川が直面する問題に対して何ができるかを主体的に考え、未来を創造しようとする態度を養う。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	・呑川の会の方々から地域の商店街の現状を聞く。 ・呑川に行き、生き物や橋、課題を知り、資料を集める。		・呑川の会
デザイン	・呑川の会の願いをもとに自分たちにできることを考え、プロジェクト企画書を作る。 ・呑川の会の方々に向けたプロジェクト企画を進める。 ・呑川の会の方々に企画提案を行う。 ・フィードバックをもとに企画書を修正する。		・呑川の会
クリエイション	・呑川の会に取材をして、材料を集める。 ・企画に合った発信する方法を考え、作成する。 ・企画したことを地域の方に聞いていただく。 ・呑川の会の方と一緒に振り返りを行い、最終のフィードバックを行う。		・呑川の会
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、独自教科で内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国 語	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		9
算 数	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。		3
理 科	・人と環境の関わりについて調べる活動に取り組み、人の活動は地球環境に様々な影響を及ぼしていることを捉えること。 ・人と環境が関わって、工夫して生活するために、自身ができることを考えること。		3
図 工	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから表したことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ、用途などを考えながら、どのように主題に表すかについて考えること。		3
家庭科	・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。 ・家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。		2
総合的な学習の時間	・プログラミングを活用し、製品の制御を行うこと。 ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。		15